お砂糖消費拡大の取り組み

北糖は日本ビート糖業協会の一員として、ビートや砂糖に対する正しい知識や理解醸成に向けてパネル展示やお砂糖配布、イベント参加等の活動に携わってきました。2025年度の取り組みについてご紹介いたします!

① あさひかわ菓子博2025
(@旭川　2025年5月30日～6月15日)



ビートとお砂糖を各メーカー・消費者にアピール!

※旭川菓子博2025HPより

② 北海道ビート糖フェア
(@新千歳空港　2025年8月1～3日)



※日本ビート糖業協会HPより

ビートやお砂糖のイベントを見かけたら是非参加してね!

③ ほっかいどう秋の大収穫祭
(@道庁・赤プラ　2025年10月3～5日)



④ てん菜・てん菜糖の日
(@北農ビル　2025年10月31日)





ビートとビートからできるお砂糖に関連し、様々な催しが開催されています。
引き続きビートとお砂糖の理解醸成・消費拡大に向け努めて参ります!

Sugar Beet 2026 No.120
北海道糖業株式会社

〒060-0001 札幌市中央区北1条西5丁目2番地
札幌興銀ビル8F
TEL 050-1723-2374 FAX（011）221-5786
編集発行人：井内 大輔
2026年1月31日
●北糖ホームページ：https://www.hokutou.co.jp
●農機具販売ホームページ：https://www.hokutou.co.jp/nouki/
●北糖耕作者専用ページ：https://www.hokutou.co.jp/farmer/

シュガービート
Sugar Beet
2026 No.120

北海道糖業株式会社

Topics -トピックス-

- 新年ご挨拶・原料部門職員ご紹介
- 2025年度の生産実績
- 輪作の効果・てん菜の有意性
- 栽培技術情報
- 新商品の紹介
- ドローン防除の実例
- お砂糖消費拡大の取り組み



●北糖ホームページ　https://www.hokutou.co.jp　　●農機具販売ホームページ　https://www.hokutou.co.jp/nouki/
●北糖耕作者専用ページ　https://www.hokutou.co.jp/farmer/

Sugar Beet No.120

新年明けましておめでとうございます！原料　部門一同、本年も宜しくお願い致します！



北見製糖所原料課＆㈱オホーツクアグリサポート＆㈱糖栄



道南製糖所原料課＆㈲ほくとう興農



北見製糖所	三里知洋・國分一馬・岡田悠暉・関政広・伊藤廉・木全政輝・松尾誠・伊東麻美 竹内尚也・高橋和大・佐藤基・宮脇正幸（課長補佐）・木平邦洋（課長）・久保田忍・木下雅貴
道南製糖所	荒康平（道央事務所長）・石澤光・原田大二郎・堀越勇作・下田崇正 水口雄太・杉本皓紀・星野達也・中村研司・福島梓 小川賢二（ほくとう興農）・岡戸亮司（課長補佐）・坂本裕樹（課長）・髙野春花
本別事業所	田中克・貝沼悠吉・石垣由依・久保志織・北沢英之・大西悠己・片山洋平・森口紀明・神田大靖 滝口由博・薮﨑享・森本隆生・柏木浩二（課長）・相馬健二（課長補佐）・伊藤三音都

本別事業所原料課＆㈲南十勝興農＆㈱下浦農場



おしらせ　2026年4月より社服が新しくなります



1968年の会社創業より社員が着用していたおなじみの北糖社服=クリーム色。
まもなく60年の節目を迎えるに当たり、リニューアルすることとなりました。
会社の企業理念～北海道の恵みから　笑顔あふれる未来を　あなたへ～
を基に、今後も地域に根差した活動を行っていきます!

農務企画課長補佐　船久保　裕輔

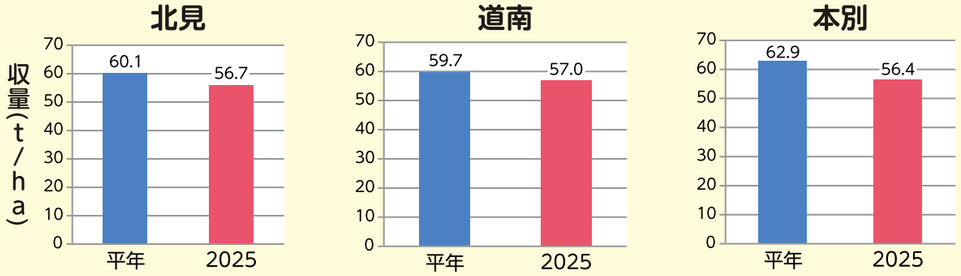


2025年度のてん菜生産実績について

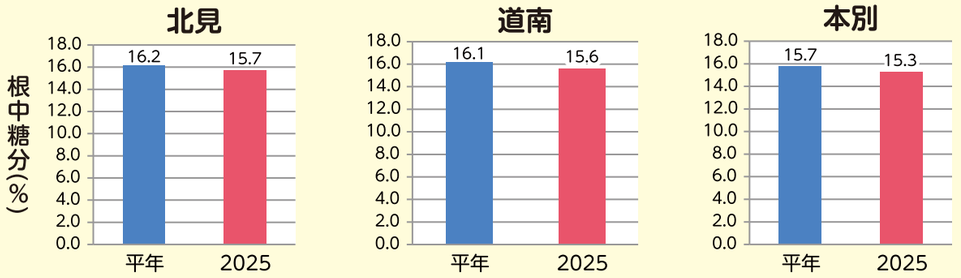
昨年・一昨年に続き、2025年も記録的な猛暑の影響（以下、気象グラフ参照）を受け、褐斑病の発生リスクが高まるなど、てん菜生産にとって非常に厳しい年となりました。その結果、収量・糖分とも平年を下回る実績となりました。

このような厳しい気象条件の中においても、生産者の皆様方には日頃からの栽培管理、とりわけ徹底した病害虫防除にご尽力いただき、一定の生産量を確保していただきましたこと、工場を運営する当社として心より感謝を申し上げます。今後とも基本技術の励行と、気象条件に適応した技術により、安定した生産にご協力賜りますようお願い申し上げます。

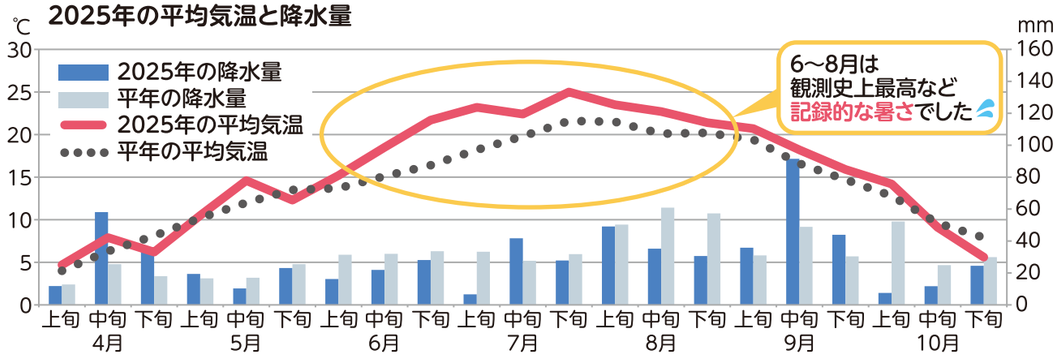
収量実績 （平年は過去7か年平均）



糖分実績 （平年は過去7か年平均）



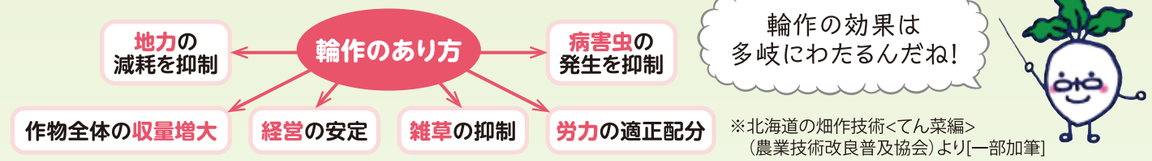
2025年の平均気温と降水量



注）観測地点：北見市、遠軽町、紋別市、伊達市、倶知安町、恵庭市、本別町、大樹町

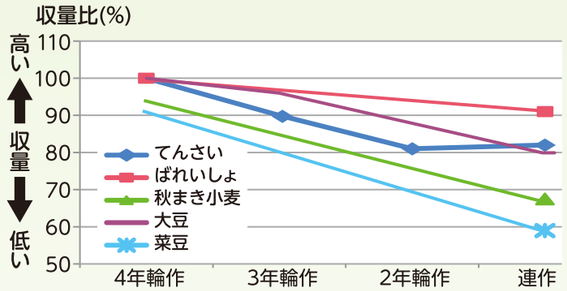
輪作の効果、てん菜の有意性について

ここでは今一度、「輪作のあり方」・「輪作の違いによる収量性」・「てん菜の有意性（残渣の養分供給）」についてご紹介しますのでご確認お願いします。



※北海道の畑作技術<てん菜編>（農業技術改良普及協会）より[一部加筆]

輪作の違いによる収量性



注）北見農試長期連輪作試験（1959～2000年）より4年輪作を100とした比率
（秋播小麦と菜豆は6年輪作を100とした比）

連作試験で発生した土壌病害虫

作物	病害虫または症状	被害程度
てんさい	苗立枯病（Aphanomyces菌）	中
	根腐症状（Aphanomyces菌）	中
ばれいしょ	粉状そうか病	小
	そうか病	小
	半身萎凋病(Verticillium albo-atrum)	中
秋まき小麦	雪腐病	中
	根腐症状（根面糸状菌　Sterile dark）	中
大豆	根腐病（Pythium菌など）	中
	ダイズシストセンチュウ	大
菜豆	根腐病（Pythium菌など）	大
	ダイズシストセンチュウ	大

連作、短期輪作では各作物とも収量が低くなる傾向です。減収要因は主に土壌病害虫（上表）の影響が大きいとされています。

てん菜残渣の養分供給

てん菜は後作物に対し他作物より多くの養分供給が可能です。C/N比が低く窒素分が速やかに利用できます。

圃場副産物の減肥可能量（北海道施肥ガイド2020より）

副産物の種類（処理法）	標準的乾物重（kg/10a）	すき込み時C/N（参考）	減肥可能量（kg/10a）	
			N	K_2O
秋まき小麦麦稈（全量すき込み）	600～900	80～100	-3～-5	7～10
〃（搬出残量）	300～450	80～100	-2～-3	4～5
春まき小麦麦稈（全量すき込み）	500～700	60～80	-2～-3	10～12
〃（搬出残量）	250～400	60～80	-1～-2	5～6
スイートコーン茎葉	640～970	25	0～2	10～15
子実用とうもろこし茎葉	800～1200	55	0	13～17
ｲｱｺｰﾝｻｲﾚｰｼﾞ用とうもろこし茎葉	640～970	55	0	10～15
てんさい茎葉	600～900	16～22	4～8	18～25
大豆茎莢	210～250	80	0	3
小豆茎莢	130～170	70	0	3～4
菜豆茎莢	230～270	50	0	4～5

シュガービート119号（臨時号）でお伝えした通り、令和8年度よりてん菜の交付金が見直されます。令和7年度の全道作付面積は指標面積に対して約2,500ha未達の状況ですので、**令和8年度は適正輪作の中で最大限の作付けをお願い致します。**

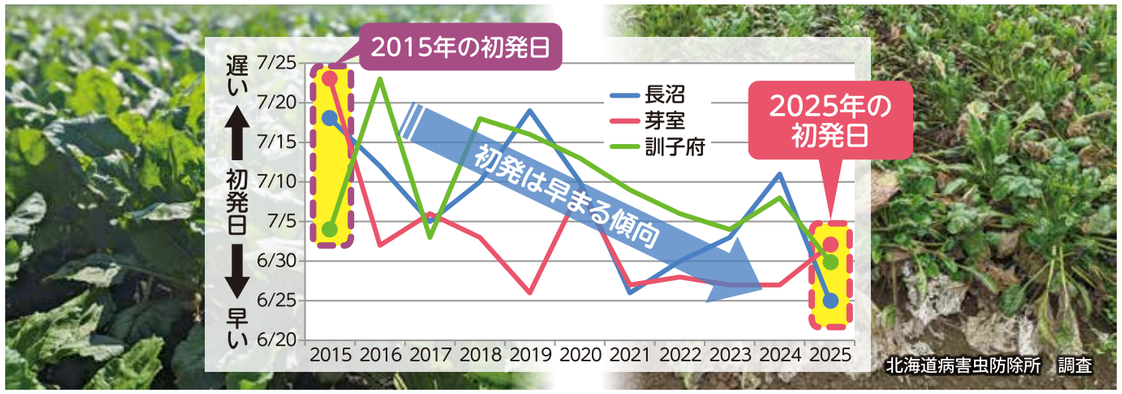
新登場！ テンサイ褐斑病防除への布石！
テンサイ褐斑病に早く撒けば、長く効く！
ピリダクロメチル含有
新規作用性を有します！
フセキ® フロアブル
ムケツDX®
SDP効果*
でしっかり防除！
ムケツDXは、早い時期での散布により、テンサイ褐斑病に対して発病遅延（Slow Disease Progression）を実現。
●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。
ホクサン株式会社 技術普及課／〒061-1111 北広島市北の里27番地4 TEL.011（370）2280
フセキ、ムケツDXは住友化学(株)の登録商標

Sugar Beet No.120

2025年の病害虫発生状況と対策および直播の安定生産に向けて

2025年は、平年より高温で経過したため、褐斑病の徹底防除、シロオビノメイガ・シロイチモジヨトウの多発への対応などを余儀なくされました。
今後も夏の高温が懸念され、褐斑病やその他病害虫が多発しやすい状況が考えられます。初期段階できちんと抑えるため、防除ポイントや薬剤を確認し、次年度に備えましょう。

褐斑病の初発日の推移（2015～2025年）～初発日は早まる傾向に～



次年度に向けた褐斑病対策

①前年のビート残渣は畑にすきこむ!
②適正な輪作での作付けを!
③地区の防除情報を参考に確実な防除を!



●各病害虫の防除に当たっては、各地区の関係機関等から発信される技術情報を参考に**適期防除**をお願いします。
●農薬の使用に当たっては、**容器等のラベルの記載をよく確認**(農薬取締法順守)し、薬剤の効果を十分発揮させるために濃度・時期・散布水量等を守りましょう。また、農薬の**飛散(ドリフト)**に最大限の注意を払いましょう。

シロイチモジヨトウ

ねぎ、キャベツなど野菜での発生は見られていましたが、昨年はてん菜圃場でも被害が確認されました。繁殖サイクルが早く、一気に増殖するため注意が必要です。

防除のポイント

●耐性虫発生防止のため、異なる系統の剤を組み合わせた防除を!
●若齢幼虫のうちから速やかに防除!

＊府県では、シロイチモジヨトウに対する薬剤効果の低下する例が報告されております。**詳細は、各地区の関係機関等から発信される技術情報を参考にしましょう!**



参考:他害虫との違い


シロオビノメイガの幼虫と食痕


ヨトウガの幼虫と食痕

直播の安定生産のお供に活用しましょう!

播種機鎮圧輪（狭幅）

播種床に凹みをつくり、風から守ります!





風害・霜害対策のほか、干ばつによる発芽不良を抑えます!

カルチアタッチもりもり

畦間に凸凹をつくり、風から守ります!





風害・霜害・排水対策になり、播種同時施工も可能です!





土壌保水性改善資材

MOIST GUARD モイストガードのご紹介

「数十年に一度の確率でしか起こりえない」と例えられるような異常で極端な気象が頻発しています。昨年（2025年）も過去にない最高気温が全道各地で記録されるなど、猛暑に苦しめられる一年となりました。
また地域により差はあるものの、猛烈な暑さと少雨が長期間にわたり、作物への強いストレスが、その後の生育や収量に大きく影響しました。
近年、植物に対する様々なストレスを軽減させるバイオスティミュラント資材が注目を集めています。今回は、当社が取り扱う「味の素の資材」のうち、夏季乾燥環境における「土壌水分の急激な喪失」と「乾燥ストレスに伴う作物生育不良」に効果の高い新資材、また春先におすすめの資材を紹介します。

モイストガード



今年注目の新商品!!

■本商品の効果
土壌への**水分浸透性改善**（潅水効率改善）
土壌の**保水性改善**（土壌水分保持期間の延長）

■効果成分
水溶性ポリマー（非イオン性界面活性剤）
※化粧品・医薬品用途で長年実績あり、生体への安全性を確認済

■施用方法
200mL/10aを4週間おきに植物根圏土壌に施用

■使いやすさ
液体のため**全体への均一施用が容易**

Agriful アグリフル



■フルボ酸による団粒構造化
フルボ酸が、水持ちや水はけ、
通気性に優れる土壌にします!

春のスタートダッシュに!

■微生物の活性化
フルボ酸や有機酸などが微生物のエサとなり、
微生物の増殖を促します!

■有機酸によるりん酸の可溶化
植物が取り込みやすい成分で、**肥料の利用効率を高めます!**

●てん菜での施用例

※茎葉が生い茂る前に土壌表面に散布することが効果的!

《時期》4-6月
《方法》除草剤と同時散布
①除草剤散布1・2回目（移植・直播）との同時使用、または
②直播であれば発芽前の土壌処理除草剤（デュアールゴールド）との同時散布+2回目同時散布が効果的!
《薬量》300-500㎖/10a

モイストガード施用事例（玉ねぎ）

試験設置場所:北見市

■6月下旬　葉面散布で殺菌剤と同時散布（200ml/10a）
以降、リールマシンでの圃場散水実施
■7月28日　その後干ばつ、高温が続く中、未施用区は早めに倒伏がみられたが、
MOIST GUARD散布区は倒伏が大幅に少なかった





（単位：kg）

規格/重量	MOIST GUARD区	未施用区
L	4.78	0.26
M	6.72	8.01
S	2.86	3.36
	14.36	11.63

《原料課担当者のコメント》
施用直後は半信半疑でした。高温が続いたあとに散布圃場を確認に行くと、圃場の土壌水分が保たれ、玉ねぎの倒伏は抑えられ、散布区と未施用区は一目瞭然でビックリしました。
収穫では規格内収量が多いと感じました。

AJINOMOTOバイオスティミュラント資材のお求めはお近くのJA、または北糖㈱担当者まで!

北見製糖所管内における、ドローン防除の実例について

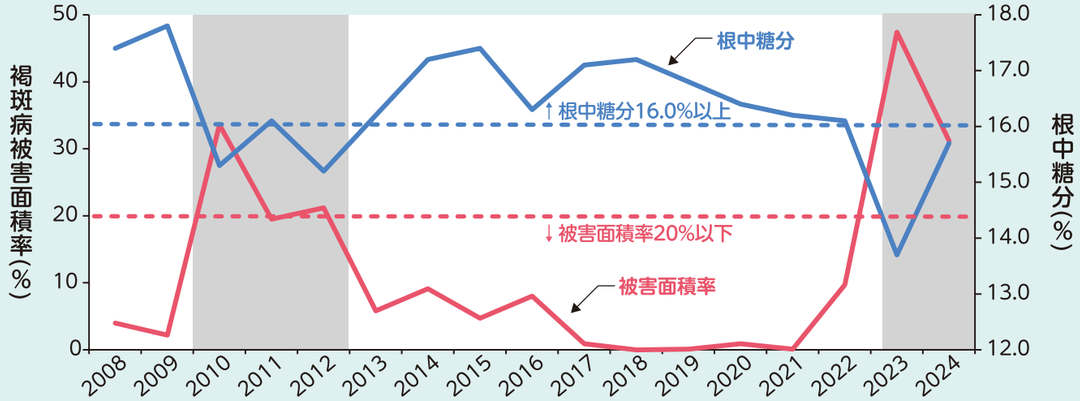
近年、温暖化が原因とされるゲリラ豪雨や線状降水帯の発生頻度が増えており、圃場の乾燥を待つことで、適期防除を逃してしまうケースが増えてきています。

そこで、本年より北海道糖業㈱は北見製糖所管内の佐呂間町をモデル地区とし、ドローン防除作業受託を開始しました。

また、他町村においてはスイートコーンとデントコーンでも液肥の散布や防除試験も行っております。

北糖では、今後も皆様がなるべく天候に左右されずに定期的な防除が行えるよう、体制を整えてまいります。

全道のてん菜褐斑病被害面積率と根中糖分の推移



※被害面積率は褐斑病発生率『中』発生以上の合計値　（てん菜糖業年鑑より）

褐斑病被害面積との関係を見てみると、**褐斑病被害面積率が20%を下回る年（上図の白抜きの年）については、概ね根中糖分が16.0%を超える傾向**が見受けられます。

⇒圃場における**褐斑病の発生を『中(指数3程度)』より下に抑える事が重要**になってきます!!



てん菜の面積を増やしたいけど、防除の手が回らない…そんなあなたの為に!

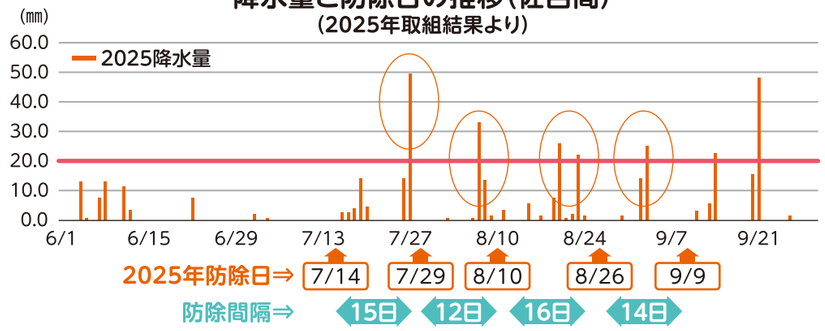
ドローン受託、始めました！

最近、農地も増えてさ。交付金の単価も上がるし、てん菜を増やしたいんだけど、何回も防除に行くのが大変なんだよね。



そういったケースに対応し、少しでもてん菜を作りやすくするため、ドローン受託を始めましたよ。

降水量と防除日の推移（佐呂間）
（2025年取組結果より）







写真①
防除風景（8月26日）



写真②
薬剤の付着具合（拡大）

本年の取組では、5回の定期防除を行いました。

褐斑病の発生は見られたものの、左ページで示したような中以上の発生とはならず、収量・糖分に大きな影響を及ぼしませんでした。

次年度は**北見製糖所管内限定で更に受託面積を拡大して事業展開する予定です**ので、まずは**北見原料課までご相談を!**

